

会議録

会議の名称	令和元年度第4回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和2年1月27日 午後2時から午後4時まで
開催場所	エコプラザ西東京（多目的スペース）
出席者	<p>【委員】 山谷委員、楠田委員、福田委員、小早川委員、平山委員、鈴木委員、澤野委員、塚澤委員、一方井委員、根本委員、河上委員、渡部委員、田中委員、砂子委員、岩崎委員</p> <p>【事務局】 萱野部長、山田課長、本多清掃係長、星川主査、岩崎技能長、池内技能主任</p>
議題	<p>(1) 資源物戸別収集の経過報告</p> <p>(2) 廃棄物減量等推進員の役割と今後の方向性について</p> <p>(3) 事業系ごみの対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者向け廃棄物処理の手引きについて ・ 事業系ごみ対策の検討 <p>(4) その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 資源物戸別収集の経過報告</p> <p>資料2 廃棄物減量等推進員の役割と今後の方向性について</p> <p>資料3 事業者向け廃棄物処理の手引き（案）</p> <p>資料4 事業者向け廃棄物処理の手引きの活用と課題について</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（発言内容等）</p> <p>1 会長から開会の挨拶</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 資源物戸別収集の経過報告</p> <p>(2) 廃棄物減量等推進員の役割と今後の方向性について</p> <p>(3) 事業系ごみの対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者向け廃棄物処理の手引きについて ・ 事業系ごみ対策の検討 <p>(4) その他</p>	

(委員からの主な意見等)

議題 (1) 資源物戸別収集の経過報告

委員：プラスチック容器包装類とペットボトルの回収日が同じですが、リサイクル方法の違いで回収業者が別なので、回収時間帯に差が生じた際にごみの取り残しではないかと勘違いしてしまいます。

また、ペットボトルが入ったカゴの上にプラスチック容器包装類を置いている方がいますが、取り残しの原因になるので正しく出していただくよう、広報等で市民へ周知をしていただければと思っています。

委員：資料1【2. 未回収連絡および不法投棄連絡について】の集積所看板設置数の看板はどういったものでしょうか。

事務局：立て看板でございます。従来の看板ですと資源物集積所へ直接掲示するものでしたが、効果が薄いということで、現在は廃止した資源物集積所に立て看板を設置し、より一層不法投棄対策のために策を講じているところでございます。

委員：回収率の減少についてですが、本来は家庭内でストックしてある資源物が出しやすくなるので回収率は増加すると思っていましたが、そうではない結果になっております。資源物戸別収集の開始が消費税の増税と時期が同じで市民が買い控えをしたとも考えられますが、あまり影響があったとは思えません。

こういった傾向を市としては、どのように考えていますか。

事務局：資源物戸別収集を実施した他市の状況を見ても、回収率は減少傾向にあるため、本市においても引き続き要因を分析していきたいと思っております。

また、本市の考えといたしましては、不法投棄の減少が効果として如実に現れていて、なおかつ資源物の減量化が図れておりますので良い傾向だと認識しております。

会長：事務局説明の補足ですが、資源物戸別収集と同時に収集間隔（古紙・古布・びん・缶は2週間に1度）の変更を行ったため、回収率の減少に多少影響があるのではないのでしょうか。

また重要なのは、不法投棄や不適正排出が増えていないのは、広報や説明会で資源物戸別収集を十分周知したことによって、市民の意識が高まったのではないかと考えております。

議題 (2) 廃棄物減量等推進員の役割と今後の方向性について

委員：推進員の役割でモニター等としての協力とはどのようなことをしますか。

事務局：西東京市一般廃棄物処理基本計画の中で、平成33年度（令和3年度（第3期計画））までに策定を行うということが位置づけられておりますので、計画を策定するにあたり、市民の皆様の意見として、推進員の皆様にアンケート調査のご協力をいただけないかと考えております。

委員：推進員として、主に地域の見回りを行っておりますが、提案の中でりさいくる市の協力とはどういったものでしょうか。

事務局：りさいくる市とは4月から12月の第一日曜日に開催していて、抽選で当選した方々が不要になった物を売買するフリーマーケットでございます。ご協力内容は当選者が安全に出店できるよう、職員の補助をしていただければと思っております。

委員：組成調査で食品ロスについて触れていますが、今現在国全体で食品ロスの問題を提唱していますが、西東京市では具体的にどのような対策をしていますか。

事務局：組成調査についてですが、平成33年度（令和3年度（第3期計画））に策定する一般廃棄物処理基本計画の参考資料として、市内の戸建て住宅や小中規模集合住宅のごみを職員が回収し組成分析を行います。その際に推進員の皆様にも、ぜひ立ち会っていただければ、分別の参考にもつながると考えております。
食品ロスについては、今後の大きな課題だと認識しておりますので、組成調査にて分析し、今後市としてどのように進めていくか検討して参ります。

委員：推進員の役割として、市民に分別を周知すること、モニター等の市の施策や事業への貢献をするという2つの重要な役割があると考えます。
そのためには推進員が廃棄物減量に関して学習をしないといけないと思います。
市としては推進員の学習を評価し今後活かして、推進員会議等で発信することで、より良い方向へ向かうと思っております。

委員：推進員は常に募集をしているのでしょうか。

事務局：各地域（例：田無町1丁目地域、2丁目地域等）で募集をしております。
今現在は全地域に推進員を配置するには至っておりませんので、随時ホームページで募集しているところでございます。

委員：市内に在学の大学生や、在住の大学生等、若者にごみの減量について、少しでも興味を持ってもらえるよう、推進員になってもらうのはいかがでしょうか。

会長：学生でも清掃活動の一環として、学校と連携してごみ拾いを行ったりすることはできると思います。

委員：デイサービスでお散歩も兼ねてごみ拾いをしている事業者や中高生のボランティア部が小学生と一緒にごみ拾いをしているので、地域の推進員と一緒に様々なイベントを行えたら良いと思います。
そういったイベントで小さな子どもに教育するのが、将来のためには重要なことだと思います。

会長：推進員と地域の連携について、事務局はどのように考えていますか。

事務局：推進員の皆様に活動していただいているのは、現場で見たものを、その声を市の事業施策に反映するのを目的に行っております。

ごみを含めた環境問題というのは、関心を持っていただくのが重要ですので、推進員の皆様と協力して、より良い事業施策を作っていく、市民の関心を深めていければと思っております。

また、今現在、推進員が欠員になっている地域がございますので、皆様にお声掛けをしていただいて、楽しみながら、できる範囲でこの仕事に携わっていただきたいと考えております。

議題(3) 事業系ごみの対策について

- ・事業者向け廃棄物処理の手引きについて
- ・事業系ごみ対策の検討

会 長：機密文書の廃棄について、収集業者の委員からご説明願います。

委 員：機密文書とは、個人情報の記載のある文書のことですが古紙のリサイクルとしては様々な方法がございます。

紙をシュレッダーして製紙工場へ搬入し溶かす方法と、紙のまま製紙工場へ搬入し溶かす方法がございます。どのようにリサイクルされるかということ、搬入する工場にもよりますが、主にダンボールの中芯（ダンボールの中の波になっている部分）やトイレットペーパーに生まれ変わっています。

委 員：回収する古紙の中にビニール等の異物が入っていたりしないのですか。

委 員：機密文書ですと、書類を綴じているファイルの留め金等が混入している場合がありますが、製紙工場で選別ができるためリサイクルに影響はありません。

委 員：機密文書の引き取りを契約する場合はどのような契約になりますか。

委 員：各業者で異なりますが、我が社は機密文書の処理委託として契約を交わします。

委 員：事業系ごみの収集の際に分別がされていない事業者は多いのですか。

委 員：収集時に可燃ごみの中に缶やびんが混入してしまっていることはありますが、そういった場合は排出事業者に分別を徹底してもらうよう指導しております。

委 員：分別されていない混入物を誤って収集してしまった場合、収集業者で分別をして処理場へ搬入しているのですか。

委 員：収集業者で分別をすると手間なのでコストが高くなると思います。

委 員：家庭系ごみとは違って、事業系ごみは一般廃棄物と産業廃棄物に分けて出しているのですが、細かい分別は少しルーズになってしまうことがあるかもしれません。

委員：コンビニ等は家庭系ごみや他店舗のごみが多少出されているため、ごみが増えているのではないかと思います。

会長：事業系ごみが増えてしまっているのは、ライフスタイルの変化が大きいと考えます。コンビニやファミレスなどの飲食店などの普及により中食や外食が増えているため家庭での食事が減ったのが影響していると思います。
事業系ごみの減量の方法として一つは処理手数料の引き上げですが、西東京市のみならず、周辺の市も含めて既に処理手数料は高い水準にあるため難しいところがあります。やはり古紙類等のリサイクルできるものはして、ごみ減量をしていく方法が重要だと思います。

委員：古紙類のリサイクルですが今現在、中国の環境規制の影響で古紙情勢も非常に厳しいところがあります。
西東京市の古紙業者は問題ないのですが、古紙の買い取り価格が下がっているため、古紙類をリサイクルする業者は減ってしまう可能性があります。

委員：市内の事業者向けの講習会を事務局主催で開いていただくなどの指導をお願いしたいと思います。

委員：商工会を通じて事業者向け廃棄物処理の手引きの周知をするとありますが、商工会に加盟していない事業所についてはどのように周知していくか検討していただければと思います。

委員：新しく個人で事業を始めたいという人から、講習会を開いてほしいという要望は今までありましたか。

事務局：講習会の要望はありませんが、ごみをどのように出せばいいのかというご質問がありますので、事業系の出し方のご案内をしております。

議題(4) その他

次回の日程について

来年度の審議会は5回の開催を考えております。

初回については令和2年5月を予定しております。(後日各委員と調整)